

令和7年

8月

療育相談員だより



〒863-0043

天草市亀場町亀川1886番地2

天草圏域児童発達支援センター

電話：23-7049 FAX：22-4985

メール：hondo@amasha.jp

心身共に疲れてしまう連日の猛暑。適度な水分補給と休憩を取りながら、健康に気を付けてお過ごしください。さて、今月の療育相談員だよりでは、『親の集い』『ペアレント・プログラム』『特別支援教育研修会』等について情報提供させていただきます。

●親の集い

○子育ての悩み、試してみて良かったことやお子さんの近況など情報交換の場です。

○ペアレント・メンターさんや療育相談員が個別の対応も行っています。



✂ 今月の『親の集い』は・・・

○日時：令和7年8月19日(火) 13:00~14:30

○場所：天草圏域児童発達支援センターすくすく園 会議室(天草市社会福祉協議会本渡支所内)

✂ 7月の集いには、天草市1名、上天草市1名の保護者様と天草市のペアレント・メンターさん3名が参加くださいました。和気あいあいと情報交換していただきました。

✂『敏感な感覚』

●音に敏感：「音が痛い!!」と言っていた。イヤマフを使うことで、映画を見れるようになった。

●耳掃除が苦手：耳垢がカチカチになって取れなくなった。耳鼻科で吸引器の音を耳元で鳴らしてもらったが、なかなか慣れなかった。耳垢を柔らかくする薬を使ってもらったら、それから受診して耳掃除ができるようになった。

✂ペアレント・メンターさんより✂

これまでを振り返って、身近な支援者って誰だったかなと思い起こすと・・・医療機関の主治医やサービスを利用する際の相談員の方々はもちろん頼りになる支援者ですが、**保育園や学校の先生方**に親身に話を聞いてもらえたのが、今に繋がる力になったと思う。

✂参加者の方から話題提供していただいた内容✂



好きな食べ物は
何ですか？

果物かな・・・

私も果物大好き！

私は、刺身、
生野菜です。

たこ焼き！

麺類全般！

私は、子どもの頃、食べれる物を数えた方が早い!というくらいの偏食でした。今は甘い物が苦手。口に入れた瞬間は「おいしい!」と感じるけど、胃に入った段階で気持ち悪くなるんです。



療育相談員を含めた6名、共通する好きな物があっても好きな理由はそれぞれです。大人は「〇〇だから好き!」「△△だから苦手!」というように好き嫌いの理由を説明できますが、お子さんはどうでしょう?感覚的なことを説明できない段階では、大人が観察を通して「〇〇と感じるのかもしれない!」と把握することが、お子さんの理解と支援につながりますね。

●子育て支援講座/ペアレント・プログラムのご案内●



10月コースが
始まりますよー♡

【日 程】

- 第1回 令和7年10月 4日(土)
- 第2回 令和7年10月18日(土)
- 第3回 令和7年11月 8日(土)
- 第4回 令和7年11月29日(土)
- 第5回 令和7年12月20日(土)
- 第6回 令和8年 1月17日(土)

【対 象】 天草市・苓北町在住の子育てでお悩みの保護者様

【時 間】 13:30~15:00

【場 所】 天草圏域児童発達支援センターすくすく園

【参加費】 無料

通所事業所スタッフ・
保健師さん方の参加
も大歓迎です♡



【問い合わせ】天草圏域児童発達支援センター

天草市社会福祉協議会本渡支所内

【担 当】療育相談員 亀子・唐津・原田



● 令和7年度 天草市特別支援教育研修会 ●

“この教室にいていいんだ”と思える空間を
～安心して学べるクラス作りに必要な3つの視点～

天草市特別支援教育研修会が7月25日(金)に開催され、天草支援学校
楠田先生、苓北支援学校井上先生と一緒に話をさせていただきました。
安心して学べるクラスづくりに必要な3つの視点の中から、今月は『心理的
安全性』についてご紹介します。

♡ 失敗しても大丈夫な環境

☆失敗の共有:大人自身も失敗談を共有し、失敗が誰にでも起こることを示す。

☆失敗をポジティブに捉える:失敗を学びの一部として捉え、失敗から何を学べるかを
話し合う時間を設ける。

☆成功も失敗も両方賞賛:成功だけでなく、挑戦したこと自体を称賛し、失敗した場合もその努力を認める。



♡ 助けを求められる環境

☆助けを求めてOK!:助けを求めることは恥ずかしいことではないことを教え、質問や助けを求める行動を認める。

☆ペアやグループ活動:子どもたちが互いに助け合えるように、ペアやグループでの活動を活かす。

☆サポートシステムの整備:相談できる先生やカウンセラーの存在を明確にし、いつでも助けを求められる環境を
整える。

♡ 否定されない環境

☆意見の尊重:すべての意見や考えを尊重し、否定的なコメントを避けることを意識した指導をする。

☆建設的なフィードバック:否定的なフィードバックではなく、建設的なフィードバックを行い、
どうすればいいか改善点を具体的に示す。

☆多様性の受容:異なる背景や考えを持つ子どもたちを受け入れ、多様性を育てる文化を育てる。



🍀『「援助を求める力」を大切にする支援』阿部利彦先生著は、参考になりますよ(^^)♪